

評議員会で令和4年度の事業報告及び決算が承認されました

6月18日(日)午後3時から第32回社会福祉法人はばたき福祉事業団評議員会が開催され、令和4年度の事業報告及び決算が承認されました。なお、3月26日(日)の理事会では、令和5年度の事業計画及び予算も承認されました。

また、皆様から頂戴いたしました令和4年度の賛助会費は1,958,000円、寄附金は2,601,130円でした。はばたきへの多大なるご理解とご支援、本当にありがとうございました。今年度も、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和4年度 決算書

資金収支計算書

勤定科目		社会福祉事業	公益事業	合計
事業活動による収支	収入			
	相談事業収入	76,524,700	3,500,000	80,024,700
	調査研究事業収入	0	16,750,000	16,750,000
	経常経費寄附金収入	2,601,130	0	2,601,130
	受取利息配当金収入	6,578	133	6,711
	その他の収入	3,202,500	0	3,202,500
	事業活動収入計(1)	82,334,908	20,250,133	102,585,041
	支出			
	人件費支出	29,847,738	7,832,004	37,679,742
	事業費支出	4,937,478	1,769,454	6,706,932
事務費支出	41,358,210	9,908,137	51,266,347	
事業活動支出計(2)	76,143,426	19,509,595	95,653,021	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	6,191,482	740,538	6,932,020	
に施る整備支等	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
固定資産取得支出	632,400	750,000	1,382,400	
施設整備等支出計(5)	632,400	750,000	1,382,400	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△632,400	△750,000	△1,382,400	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	0	0	0
	サービス区分間繰入金収入	0	0	0
	その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出			
積立資産支出	3,000,000	0	3,000,000	
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	3,000,000	0	3,000,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△3,000,000	0	△3,000,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,559,082	△9,462	2,549,620	

前期末支払資金残高(12)	3,936,970	14,520,898	18,457,868
当期末支払資金残高(11)+(12)	6,496,052	14,511,436	21,007,488

令和5年度 予算書

令和5年度 資金収支予算表

勤定科目		社会福祉事業	公益事業	合計
事業活動による収支	収入			
	相談事業収入	76,037,675	3,500,000	79,537,675
	調査研究事業収入	0	18,750,000	18,750,000
	経常経費寄附金収入	3,000,000	0	3,000,000
	受取利息配当金収入	15,000	0	15,000
	その他の収入	2,700,000	0	2,700,000
	事業活動収入計(1)	81,752,675	22,250,000	104,002,675
	支出			
	人件費支出	31,739,360	7,900,000	39,639,360
	事業費支出	4,204,217	1,965,000	6,169,217
事務費支出	40,094,098	11,635,000	51,729,098	
事業活動支出計(2)	76,037,675	21,500,000	97,537,675	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	5,715,000	750,000	6,465,000	
支に施る整備支等	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
施設整備等支出計(5)	0	750,000	750,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	△750,000	△750,000	
支に施る整備支等以外の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	0	0	0
	サービス区分間繰入金収入	2,380,000	0	2,380,000
	その他の活動収入計(7)	2,380,000	0	2,380,000
	支出			
サービス区分間繰入金支出	2,380,000	0	2,380,000	
その他の活動支出計(8)	2,380,000	0	2,380,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費(10)	500,000	0	500,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	5,215,000	0	5,215,000	
前期末支払資金残高(12)	9,151,970	14,512,338	23,664,308	
当期末支払資金残高(11)+(12)	14,366,970	14,512,338	28,879,308	

Habataki

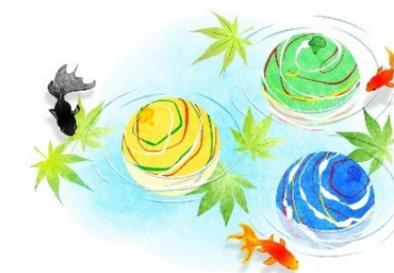
2023年7月10日 発行
第68号
社会福祉法人
はばたき福祉事業団
〒162-0814
東京都新宿区新小川町9番20号
新小川町ビル5F
TEL 03-5228-1200
FAX 03-5227-7126
http://www.habatakifukushi.jp/

生きる力を高め、医療福祉を創造するはばたき福祉事業団
患者が変われば、医療は変わる

暑中お見舞い申し上げます

徐々に暑さも厳しくなってきましたが、皆さまお変わりないでしょうか。新型コロナウイルスは5類となりましたが、感染者数も減少と増加を繰り返しています。また、今年の夏は例年よりも暑いとの予報も出ていますので、体調には気をつけてお過ごしください。

はばたきは本部と4つの支部を合わせて20名弱の少ない人数ですが、夏の暑さを吹き飛ばす熱い心で活動に取り組んでいます。引き続き、皆さまからのご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



今年度の新しい取り組みについて

これまでにはばたきでは、対面だけでなくiPadやアプリ、オンラインなど、様々な方法で相談支援を行ってきました。そして今年度から、新しくBOCCO emo(ボッコ・エモ)というロボットを利用しています。BOCCO emoは、実際は人間が対応しているのですが、いつでも話しかけられるロボットで、試行的に10名の遺族、患者に体験してもらっています。中には人間よりもロボットの方が話しやすい、相談しやすいと感じる人もいます。利用している皆さんの感想も伺いながら、人が対応するだけでなく新しい相談の形を考えていきます。



雑談から相談までなんでも話せるBOCCO emo

また、長期療養班(藤谷班)の分担研究で行っている生きがい支援では、被害によって社会から孤立せざるを得なかった被害者に、社会とのつながりを作り直すアウトリーチ型の「生活訪問相談」を開始しました。生きがい支援は最も難しい支援のひとつですが、障害者の在宅就労支援を行っている相談員等が定期的に自宅を訪問し、様々な話を聞きながら、その人に合った社会参加につながるよう取り組んでいます。中には、障害福祉の制度を使って在宅就労を目指す人も出てきたのですが、自治体によって理解に差があり、すんなり進まないという課題も見えてきました。

被害者救済として国に対応を求めるとともに、障害福祉サービスを利用する人たち全体が適切に制度を利用できるよう提言を行っていきます。



はばたき福祉事業団の活動は拠出金や補助金、助成金などで運営されています。しかし、運営費用は年々厳しさを増してきており、経費節減の努力を最大限にしておりますが、事業を安定的に取り組み、被害者を永続的に救済していくためには、多くの方からのご寄附、賛助金等のご支援が欠かすことができません。

はばたき福祉事業団は平成23年11月1日に税額控除対象法人となり、はばたき福祉事業団へのご寄附は以下のように税制上の優遇措置の対象となります。

<個人によるご寄附>

所得控除と税額控除のうち有利な方を選べます。税額控除は税額から直接控除額を差し引きますので所得控除と比べて減税効果が大きく、寄附者に大きなメリットになります。

<法人によるご寄附>

一般寄附金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金として算入できます。こうした制度もご利用いただき、ぜひとも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【郵便振替】
口座番号：00130-4-409457
名義：社会福祉法人はばたき福祉事業団
【クレジットカード】
当事業団ホームページをご参照ください

社会福祉法人はばたき福祉事業団

Social Welfare Project HABATAKI Welfare Project

- 東京本部 〒162-0814 東京都新宿区新小川町9番20号
新小川町ビル5F
TEL 03-5228-1200 FAX 03-5227-7126
- 北海道支部 〒064-0805 札幌市中央区南5条西10丁目
サンハイツ南5条1005号
TEL/FAX 011-551-4439
- 東北支部 〒980-0812 仙台市青葉区片平1丁目2-38
チサンマンション青葉通り905号 花咲み法律事務所
TEL/FAX 022-215-0303
- 中部支部 〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目4-3 錦パークビル2階
さくら総合法律事務所気付
TEL 052-265-6663
- 九州支部 〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-2-5
東峰マンション第一西公園303号
TEL/FAX 092-717-6329

Rainbow Academyに参加 新規HIV感染0が目標

ギリアド社主催のRainbow Academy (2023年6月5-6日、シンガポール)にHIVコンソーシアムの一員として参加しました。アジア各国のNGOから総勢50名以上が参加し差別偏見の解消、HIV終結にむけて等、活発な議論が交わされました。

政策、ステークホルダーとの協力によるHIVのケアとその提供の改善について、まず各国の検査、予防、治療、HIV陽性者の人権擁護等の現状を共有しました。日本から何か良い提案があると期待していた各国は日本の現状(PrEPや郵送検査は研究でのみ実施、未承認)を知り、「15年前と変わっていないね」と発言があり、驚きの表情をされ複雑な気持ちになりました。

AfA(シンガポールの感染症とエイズ対策に取り組む非政府組織)を訪問し、教育、治療、福祉プログラムおよび匿名HIV検査について学びました。特にバスを地域に走らせたHIV検査は興味深く、車は化粧品会社のMACから提供されており年間かなりの検査をこなしており好評ということです。検査数が減少している日本も柔軟な検査体制の実現の参考にしたいと思いました。



GAP6のメンバーとともに、各国の取り組みについても学びました

血友病、保因者、肝硬変に関する取り組み

血友病の治療薬は進歩してきましたが、30代でも関節の痛みがある人がいるとのアンケート結果も出ています。そこでリハビリをテーマに、6月3日に「なるほど! 血友病ワークショップ2」を開催しました。オンラインと会場合わせて174名が参加し、会場では理学療法士がアドバイスも行いました。

また、保因者の出血傾向の評価については長年の課題でしたが、経血量を計測できるショーツの開発が進んでいるという情報を知り、開発元から話を伺いました。今後、研究等につなげ、保因者の診断や治療の向上に役立てていきたいと感じました。

肝硬変については、6月24日にオンラインセミナー「肝硬変の基本知識と新しい治療薬」を開催しました。詳細は右ページのQRコードから動画が見られますので、ぜひご覧ください。



イスに座ってできる運動を試しました

血液製剤の国内自給達成に向けて

薬害エイズ事件の教訓を踏まえ、献血血液による血液製剤の国内自給達成を目指し、当事者委員として血液事業部会をはじめとした審議会に出席しています。今年、「血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保に関する基本的な方針」の5年ごとの改定の年にあたります。国内自給達成に向け、国が将来を見据えたグランドデザインを描き、血液法の基本理念の下、国の責任として進めていくよう求めていきます。



日本赤十字社での講演では、講演後に意見交換も行いました

5月31日には、献血事業を行っている日本赤十字社において、薬害エイズ事件を振り返る講演を行いました。1980年代初頭、患者の求めに応じて、安全な国内献血血液による製剤の製造に切り替える判断をしていけば、もっと違った結果になっていたのではないかと問いかけ、薬害被害を繰り返さないために何ができるかを考えました。

今後は、血液事業に被害者が求めた思いを継承していくため、勉強会なども企画していきます。

はばたき Youtube チャンネル 最新情報

はばたき福祉事業団の公式 Youtube チャンネル最新動画を以下に紹介します。

右の二次元バーコードから、ぜひチャンネル登録をお願いします。また、多くの人に見てもらうため、良かった動画にはgood評価をお願いします。



●大平勝美さん回想録「薬害を越えて」 参議院議員秋野公造さんインタビュー

聞き手：社会福祉法人はばたき福祉事業団 郭 晃彰 理事



医師であり、かつて厚生労働省疾病対策課でエイズ対策や被害者救済に取り組んでいた秋野議員に、大平前理事長との関わりを通じた学びや気付き、話されたことなどを伺いました。

●大平さんと共に闘った患者活動と薬害 弁護士保田行雄さん第1回インタビュー

聞き手：社会福祉法人はばたき福祉事業団 郭 晃彰 理事



血友病患者である保田さんは、地方から上京して大平さんと出会い、ともに患者活動を行い、薬害エイズ事件を闘いました。血友病患者を取り巻く様々な課題に挑んだ当時を振り返っていただきました。

●肝硬変の基本知識と新しい治療薬

講師：木村公則先生(東京都立駒込病院 肝臓内科 部長)



肝硬変になったら改善は難しいと言われていましたが、現在、いくつかの治験が行われています。被害者の肝硬変に対する治験を実施している木村先生から、治験の現状についてお話を伺いました。

●はばたきメモリアルコンサートに向けたメッセージ

演者：鈴木千保さん(ヴァイオリン) 北田法子さん(ピアノ)



10月13日(金)に開催予定のはばたきメモリアルコンサート。出演者の鈴木千保さんと北田法子さんから、動画でメッセージをいただきました。

●エイズ治療・研究開発センター(ACC) 岡 慎一 名誉センター長 講演動画

- 第1回「U=Uが差別ゼロへの原点」
- 第2回「PrEPを知ろう」



毎月1回、岡先生の講演を掲載しています。第1回と第2回は、新規感染者ゼロに向けてお話をいただきました。今後は検査の話や、エイズ治療初期の頃のお話も伺う予定です。